

## 4. 市内の公共交通を取り巻く課題

### 4-1 白石市の交通の課題の整理

これまでに整理した現状を踏まえ、本市における公共交通を取り巻く課題について、まちづくりや交通体系の面からみた課題について以下に整理しました。

#### 【白石市を取り巻くまちづくりの課題】

##### ①将来の人口動向を踏まえた交通ネットワークが必要

- ・現在の人口は約3.5万人、今後人口減少・高齢化が進展することが予想される。
- ・特に市域の郊外部では、人口減少が顕著となっており、将来の居住エリアや人口分布、まちづくりの方向性を踏まえ、持続可能な交通ネットワークが必要。

##### ②集約型の都市づくりを支援する交通体系が必要

- ・市の中心部である白石地区は、主要な公共施設、商業施設、住宅、及び、観光資源が多く立地している。
- ・都市機能がコンパクトに集積し、機能的で利便性の高い中心市街地づくりを支援するための交通体系の構築が必要。
- ・また、周辺部の各地域の生活形態、地域づくりに対応した交通体系が必要。
- ・その他、白石は、県南の拠点として、周辺市町村から通勤・通学・買物等の日常生活面での繋がりが多く、これらを市中心部への拠点化を高める交通体系が必要。

##### ③広域観光周遊を支援する交通体系が必要

- ・近年「宮城蔵王キツネ村」への外国人観光客が増加、当施設への来訪者を、他の観光地へ周遊させる等の取組が求められている。
- ・「白石蔵王」、「白石」各駅では、バス乗り場の位置が分かりにくい等の指摘が多い。
- ・また市域は、広域観光周遊ルート「日本の奥の院・東北探訪ルート」にも位置づけされているほか、国道113号の山形県南陽市から同市までの二市二町を通る「みちのくおとぎ街道」にも位置づけられ、これら周遊観光を支援する交通体系の構築が必要。

## 【白石市の公共交通全体の課題】

### ④どの地区からも乗り換えなしに通院できる公共交通が必要

- ・H27.3「公立刈田総合病院」無料バスの廃止に伴い市民バスのうち、いくつか路線から直接病院アクセスが出来るよう見直した結果、利便性が向上、利用者が増加している。  
→これら仕組みを活かした再編が必要。
- ・利用者ニーズは公立刈田総合病院と中心部の病院に9～10時に到着し、11～12時に帰る便が必要。  
→各路線から公立刈田総合病院や中心部の病院にニーズに合った時間にアクセスできるよう、経路や時刻表の見直しが必要。

### ⑤地域の買物先ニーズに合った経路・運行時間の見直しが必要

- ・買物先はヨークベニマル白石店やみやぎ生協セラビ白石店その他、中心部の店舗が多い。  
→中心部の主要な店舗を回遊するバスの運行の検討が必要
- ・到着する時間は10時、帰りは11時台がニーズ。  
→各路線から中心部の店舗にニーズに合った時間にアクセスできるよう、経路や時刻表の見直しが必要。

### ⑥小中学校の統廃合を見据えたスクールバスの役割を担う公共交通が必要

- ・バスでの通学が多い南中学校等、小中学校3校が平成30年～31年に統合される。→統合後の通学の足の確保が必要。
- ・白石駅から市内高校2校までのバス利用のニーズがある。  
→白石駅から市内高校2校の登下校の時間に合わせたバスの運行が必要。

### ⑦歴史・自然・レジャー・温泉等、多様な観光資源と交通拠点を結ぶ交通が必要

- ・宮城蔵王キツネ村への観光ニーズが高まっている状況に対して、交通が不便。  
→市民バスの運行本数、運行時刻の改善や代替交通の検討が必要。
- ・宮城蔵王キツネ村のみの観光になっている現状。  
→周遊ルートの検討やそれに合わせたバス、タクシーの運行計画の検討が必要。

### ⑧市民バスの利用促進を図り、高齢ドライバーの運転免許返納を促す取り組みが必要

- ・運転免許保持者の3割が返納意思があり、代替条件として、市民バスや乗合タクシーの料金割引等の特典を求めている。  
→運転免許の返納を促す特典や市民バス、乗合タクシーの乗り方、使い方周知を検討することが必要。
- ・市民バスの運行は9割が認知しているが、時刻表、運行経路は4割前後の認知度、利用してみたい人が45%  
→時刻表や運行経路の更なる周知や乗り方教室、試乗会などの企画が必要。
- ・運行経路・時間・停留所の見直しや土日祝日運行の改善ニーズが多い。  
→各路線で見直し案の検討が必要。

# 【各地域における交通課題】

## ＜市中心部の交通課題＞ ※市域の中心・拠点となる地域

**○白石地区**

- ・郊外から中心部の病院、中心部から公立刈田総合病院への通院時間に合った公共交通の確保
- ・国道4号沿いの既存の商業施設及び新規出店予定の商業施設への公共交通の確保
- ・駅やバスターミナルと高校を繋ぐ公共交通の確保
- ・市役所、高校、商業施設、観光施設等、中心部の生活関連施設を経由する新たな交通手段の導入可能性の検討

**＜市西部の交通課題＞**

**○深谷地区**

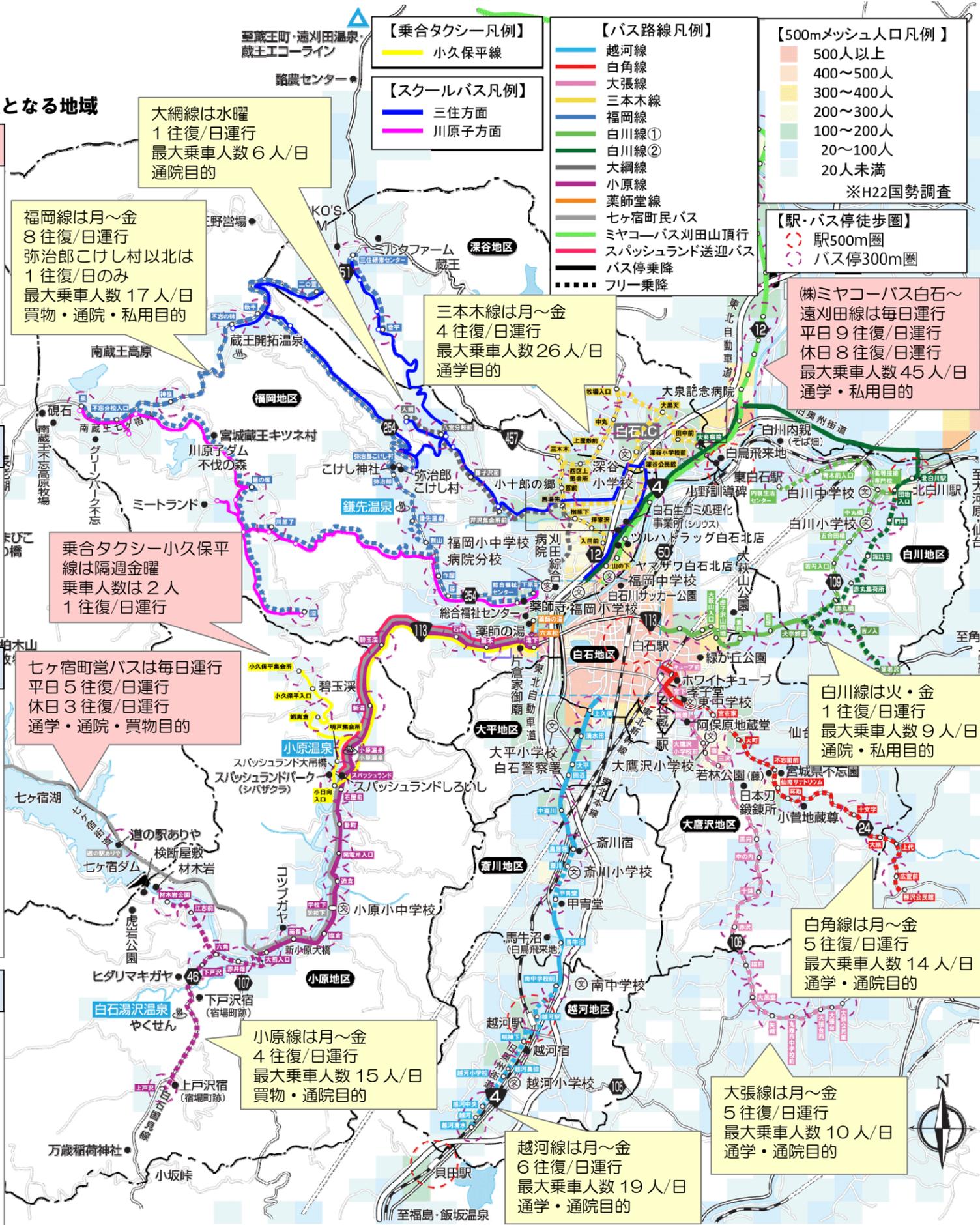
- ・深谷小学校、福岡小学校、福岡中学校への通学手段となる公共交通の確保
- ・地域住民が多く通うスーパーマーケットを経由するルート・バス停の設定
- ・中心部の白石地区への買物等や公立刈田総合病院への通院に見合った運行の見直し

**○福岡地区**

- ・利便性が悪い週4日、1日2便のみ運行する広域ルートの見直し
- ・外国人観光客が訪れる宮城蔵王キツネ村や鎌先温泉等の観光施設への交通手段となる公共交通の検討
- ・地域住民が多く通うスーパーマーケットを経由するルート・バス停の設定
- ・中心部の白石地区への買物等や公立刈田総合病院への通院に見合った運行の見直し
- ・地域主体の地域内交通の導入検討

**○小原地区**

- ・運行路線が重複する七ヶ宿町営バス、乗合タクシー「小久保平線」との運行分担・調整による運行効率化
- ・公立刈田総合病院への通院に不便な運行時間の見直し
- ・温泉郷「小原温泉」の観光復興に寄与する交通の検討
- ・地域主体の地域内交通の導入検討



**＜市東部の交通課題＞**

**○白川地区**

- ・H31.4.1に予定されている白川中学校の東中学校への統合に対応するスクールバスを兼ねた公共交通の運行方法検討
- ・仙台方面への外出利便性向上のため、北白川駅におけるJRとの接続時間見直し
- ・集落から利用しやすいバス停の位置へ見直し
- ・地域主体の地域内交通の導入検討

**○大鷹沢地区**

- ・丸森町との接続維持

**＜市南部の交通課題＞**

**○大平地区**

- ・国道4号の商業施設を経由するルートの運行本数拡充
- ・集落から利用しやすいバス停の位置へ見直し

**○斎川地区**

- ・H30.4.1に予定されている斎川小学校の白石第二小学校への統合、H31.4.1に予定されている南中学校の白石中学校への統合に対応するスクールバスを兼ねた公共交通の運行方法検討
- ・バスとJRとの接続改善
- ・タクシーを活用した空白地域への公共交通運行の検討
- ・地域主体の地域内交通の導入検討

**○越河地区**

- ・H31.4.1に予定されている南中学校の白石中学校への統合に対応するスクールバスを兼ねた公共交通の運行方法検討
- ・地域主体の地域内交通の導入検討